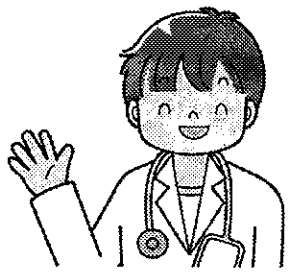
ネットで秋厚労ニュース　ID shukouro
http://www.shukouro.net/　パスワード 0188643341

メール info@shukouro.net

NO1837号
2018年4月12日
秋田県厚生連労働組合
秋田市山王5－4－2
TEL 018(864)3341
FAX 018(864)3349



秋厚労ニュース

産婦人科 医師探しを開始

鹿角

3月4日の「お産が出来る鹿角を望む住民集会」では、①住民は「お産ができる鹿角」を望んでいることをアピール②鹿角に来てくれる産婦人科医を探す③地域で医療を支える方策を皆で考える、 の3点を確認。 さっそく、 医師を求めるチラシが完成しました。

精神科ではチラシを見た医師2人が常勤医に

これまで、「鹿角の医療と福祉を考える市民町民の会」は、全国の道の駅など406ヶ所に「精神科の医師を求めるチラシ」を配布するなど、様々な運動を続けてきました。チラシやホームページ等をきっかけに、複数の医師が診療の応援を申し出てくれました。

4月からは、チラシを見た医師2人が常勤医として診療を開始。「市民町民の会」は2人の赴任を大歓迎し、地域で医師を支える体制づくりに向けて話し合っています。

6者連名 地域の魅力盛り込む

一方で、鹿角地域のお産は医師不足を理由に、大館へ集約されることになっています。住民集会で確認したことの具体化として、「鹿角の産婦人科を守る会」と「市民町民の会」は、「産婦人科医師を求めるチラシ」を作成。チラシは県・市・町・病院との6者連名で、裏面に各団体のメッセージを載せました。

3月23日の話し合いでは、「首都圏へのアクセスが良いことを強調したい」「守る会のロゴマークを載せたい」など、次々にアイディアが飛び出しました。地域の魅力を伝えるため、子育てサークルなどの「子育てに関連する取り組み」や「地域の温泉情報にアクセスできるQRコード」も追加。住民の思いがたくさん詰まったチラシが完成しました。

全国の道の駅へ発送

チラシは、今までの協力へのお礼状と一緒に、既に全国の道の駅へ発送済み。近いうちに、一緒に作ったポスターとあわせて、地域の商店や旅館などへも配ります。

他にも、お産の問題を多くの人に知らせて一緒に考えようと、住民集会の様子を「住民が目指すお産できる鹿角しんぶん」にまとめました。「しんぶん」は、集会の後援・協賛団体や市・町の保育園、公共施設などに配ります。

秋田県人会や関東の旅館へ配る案も

「関東などの秋田県人会、サービスエリア、ホテルや旅館にチラシを配ってはどうか」「移住コンシェルジュの力を借りてはどうか」との案も出されています。住民集会で提案された「楽しくお産を考えるイベント」も検討中です。

2つの住民の会の力が合わさって、より広い範囲への働きかけができそうです。